

研究機関：広島大学

研究課題名	早期の有効トラフ濃度到達を目的としたテイコプラニンの 高用量負荷投与における安全性の検討
研究責任者名	広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰
研究期間	2017年9月13日(倫理委員会承認後)～ 2020年3月31日
対象者	2013年9月1日から2018年9月30日の間に、広島大学病院でテイコプラニン®を投与された患者さんのうち、血中濃度測定を行った患者さんを対象とします。
意義・目的	テイコプラニンは治療効果を得るために血中濃度を測定しており、治療に有効とされる濃度に速やかに到達することで治療効果が高まります。初期におけるテイコプラニンの投与量が血中濃度や検査値に及ぼす影響を調べることで、安全で有効な投与量の設定に役立てることができると考え、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は既往歴、身長、体重、性別、年齢、疾患名(グレード等を含む)併用薬剤、血液検査(テイコプラニン血中濃度、腎機能検査値、肝機能検査値、アルブミン)、体温、細菌培養結果等です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	広島大学病院のみで実施します。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5574 広島大学病院薬剤部 契約薬剤師 原田一樹